

議会広報特別委員会

日 時	令和3年6月10日(木) 開会中	10時10分 開会 10時52分 閉会
場 所	相良庁舎4階 第3会議室	
出席議員	(委員長) 2番 濱崎一輝	(副委員長) 3番 原口康之
	6番 藤野 守	5番 平口朋彦
	4番 吉田富士雄	1番 鈴木長馬
欠席議員		
法第105条出席		
事務局	書記 森田さおり	書記 本杉周平
説明員		

署名 _____ 議会広報特別委員長

[午前 10時10分 開会]

開会の宣告

○議会広報特別委員長（濱崎一輝君）

それでは、時間になりましたので、ただいまより議会広報特別委員会を開会いたします。

2 事件 (1) 牧之原市議会だより「かけはし」第63号について

○議会広報特別委員長（濱崎一輝君）

それでは、事件に入ってまいります。

最初に、議会だより「かけはし」第63号についてということで、編集スケジュールから話合いをしていきたいと思っております。

事務局より説明をお願いいたします。

事務局。

○事務局書記（本杉周平君）

では、よろしくをお願いいたします。

資料のほうは、編集スケジュール（第63号）というものをご覧ください。

今回の議会だよりにつきましては、8月15日の発行ということでスケジュールのほうを組ませていただいておりますので、順に簡単ではございますけれども、ご説明のほうをさせていただきます。

まず、6月からになりますが、6月10日、今日ですけれども、1回目の議会広報特別委員会ということで、編集スケジュールの決定及びページ構成の案のほうの検討をいただきたいというふうに思っております。

その後、来週月曜日、14日ですけれども、本会議（一般質問）の1日目になりますが、この日付で各議員の皆様へ原稿の依頼のほうをさせていただき予定でございます。

その後、28日、月曜日、本会議最終日ですが、こちらも本会議終了後に第2回の議会広報特別委員会ということで、こちらでページの構成の最終決定のほうをいただきたいという形で考えております。

また同日付で、総括的な質疑及び通告質疑の原稿の提出期限を予定しております。

その後、月が変わりまして7月2日ですが、こちらで全ての原稿の提出期限ということで、ここで原稿が全て提出される予定でございます。

その後、事務局のほうでワードのほうの原稿のほうに落とし込みまして、7月7日、水曜日ですが、第3回の広報特別委員会ということで、こちらは午前中9時からということでお願いをしたいというふうに考えております。こちらではワードの原稿の編集という形になっております。

その後、こちらで編集いただきました内容を、翌日、業者のほうへ持込みのほうをさせていた

だきまして、7月19日、月曜日ですが、午前中に全員協議会があるということですので、午後、第4回の広報特別委員会のほうをお願いしたいというふうに思っております。

こちら、業者から出されましたゲラ刷りの原稿の1回目の確認ということで考えております。修正したものを、また翌日、業者のほうへ持込みをしまして、29日の木曜日ですけれども、こちら午前9時からになります。広報特別委員会のほうをお願いしたいという形で考えております。

こちら、ゲラ刷りの原稿の2回目の確認ということで、委員会の中で編集、校正等をしていただくのは、こちらの委員会が最後という形で考えております。

その後、また翌日、業者のほうへ持込みをしまして、月が変わりました8月6日ですが、正副委員長による最終の確認をいただいて、8月15日付で発行というふうなスケジュールを組んでいるということですので、ご協議のほどよろしくお願いいたします。

○議会広報特別委員長（濱崎一輝君）

説明ありがとうございました。

今、事務局のほうから説明がありましたけれども、基本的には、このスケジュールでいきたいと思っておりますけれども、皆さん、ご予約のほうはいかがでしょう。

よろしいですか。大丈夫ですかね。

〔「異議なし」と言う者あり〕

○議会広報特別委員長（濱崎一輝君）

それでは、特に異論はないので、このスケジュールでいきたいと思っております。

では、スケジュールに関しては以上となります。

では、次ですね。次はページ割についてということで進めていきますので、事務局より説明をお願いいたします。

事務局。

○事務局書記（本杉周平君）

では、続きまして、ページ構成のほうのご説明をさせていただきますので、資料は次のものになりますが、ページ構成（第63号）という資料のほうをご覧ください。

では、説明させていただきます。

一番右側が63号、今号のページ構成の案となっております。一番左側が第59号のページ構成となっておりますので、どちらも6月定例会号ということで、比較するのであれば、そちらの59号を比較対象としていただければというふうに思っておりますので、よろしくお願いいたします。

順に説明をさせていただきますが、まず、表紙ですね。表紙につきましては、前回の62号の編集の際に、次号、63号については御前崎中学校のほうにお願いをしたらどうかというご意見をいただいております。先日、次長と私のほうで御前崎中学校に伺いまして、お願いをしたところ、了承をいただいておりますので、御前崎中学校さんのほうに今回は表紙のほうの提供を依頼させていただくという形になります。

2ページから4ページになりますが、こちらについては、6月定例会の内容の報告という形で

予定をしております。こちらには、総括質疑を含んだ上で3ページぐらいということで、今、予定をしているところがございます。

次ページ、5ページですけれども、5ページについては、6月定例会における補正予算の連合審査の審査内容及び4月の臨時会の内容ということで、今、1ページにまとめております。

この後、補正予算連合審査会の質疑の内容等によりまして、若干、ページの変動はするかと思いますが、4月の臨時会については、質疑をされた議員の方がお二人でしたので、そんなにボリュームといいますか量といいますか、1ページ取るような形でもないのかなというところで、半ページとしたらどうかということで、今、このような形で組ませていただいておりますが、こちらは、今後の連合審査の内容等によっては、若干、変動する可能性もございます。

6ページですが、こちらについては議案一覧ということで6月定例会と4月臨時会の議決結果の一覧を1ページで載せるという形で考えております。

その後、7ページから16ページまでですが、今回は一般質問をされる議員の方が10名いらっしゃいますので、10ページ分確保しているというところがございます。

少し飛びますが、裏紙です。一応、編集後記ということで、順番でいきますとこれで皆様、一通りやっていただきましたので、順番に戻るということであれば、濱崎委員長のほうの形になるのかなと思いますが、こちらは、次がちょうど皆さんの任期で最後になるものですから、例えば最後が委員長のほうが何となく体裁がいいということであれば、順番を前後して次の方にやっていただくという形でもありなのかなというふうには考えているところがございます。

17ページ、18ページ、19ページについては、今のところ空欄という形になっておりますけれども、今回は前半部分の議案の定例会、本会議の内容が少し前回に比べるとボリュームが少ないかなというところもございまして、3ページ半ですか、特集ページを組めるという形になっております。こちらについては、また、どういったものを載せるかということについて、今、空欄にさせていただいてございますので、何かご提案があれば、それを載せさせていただければなというふうに思っているところがございます。

一応、私のほうで、何か最近あったかなというところでも考えたところ、まず、前回の同時期も載せましたが、永年勤続表彰ということで、今回、鈴木千津子議員が表彰を受けていますので、そちらの記事を載せたらどうかというところ。

それと、名波議員がご逝去されたということもありまして、前回といいますか、すみません、久保議員が逝去されたときも、議会だよりのほうには載せてはいましたので、少し時間が経過してしまうというところはありますけれども、その辺も少し協議いただければというふうに思います。

あとは、今回、5月1日の竜巻等の災害に関しまして、市のほうへ要望書を出していますので、その辺の要望書を出しましたよという記事。

それと、議会報告会ですね。別途、班回覧でチラシのほうは出しますけれども、例えば、動画でやりますよというところを議会だよりのほうでも周知してもよろしいのかなというところなんです。

あと、選挙についてですね。選挙公営が前々回の本会議で少し改正されていますので、その辺の周知と10月に控えております市議選の日程の周知という記事も対象かなというふうに思っております。

あとは、最近のことではありませんが、もしそれでもページが少し余るよということであれば、たまに出しておりますけれども、提言書のその後というような形で、提言書について、その後どうなっているのかということをお委員会ごとに出し合ったりというところもどうかなというふうに思っています。

あと、タブレット端末の導入について、特に導入を検討していますよという記事は、私が来てからすぐに載せましたけれども、導入しましたよという記事については載せていないのかなというふうに思いますので、例えば選挙の絡みでタブレットを議会では使っているんだよということをおアピールしたいということであれば、あえて載せるということも一つの手かなというふうには考えます。

以上、簡単ではございますが、63号のページの構成の案と特集ページの案ということでご説明とさせていただきます。よろしくお願いいたします。

○議会広報特別委員長（濱崎一輝君）

説明ありがとうございました。

それでは、ページ割について協議をしていただきたいんですけども、基本的にページに関しては、今説明があった部分でいいのかなと思いますけれども、空白部分ですね。17ページ、18ページ、19ページと、あと裏面の半ページになりますけれども、この部分に何を載せるかということなんですけども、皆さんのほうから、これは載せたいよというものがあれば言っていただければと思います。いかがでしょうか。

平口委員。

○（平口朋彦君）

名波議員のご逝去に伴う記事なんですけれども、過去も久保議員でしたり、鷲坂隆夫議員だったり、ご逝去されたときに記事として出しています。そのときは両方とも最終ページ、裏面だったと思うので、やはり、そこはそろえたほうがいいのかなと。

それと一緒に、永年勤続表彰も大体において最終ページなので、永年勤続表彰と名波議員のご逝去の訃報をお知らせするのは裏面に両方とも入るのかな。サイズのほうはどうかと思うんですけども、そこは両方、今までどおり裏面に入れていくのがいいのかなと思います。

○議会広報特別委員長（濱崎一輝君）

ありがとうございます。

前回、久保議員のやつも一番後ろなのか。

今、お話があったように、永年勤続表彰と名波議員のやつに関しては私も載せたほうがいいのかとは思っていますけれども、皆さんはいかがでしょうか。いいですか。

〔「異議なし」と言う者あり〕

○議会広報特別委員長（濱崎一輝君）

では、これに関しては載せましょう。

裏半面で載せられる、両方。

○事務局書記（本杉周平君）

一応、久保議員のときはこんな感じですか。勤続表彰はこんな感じですか。ページの的には。

○議会広報特別委員長（濱崎一輝君）

じゃあ、大丈夫だね。

○事務局書記（本杉周平君）

むしろ、これでも余るぐらいです。

○議会広報特別委員長（濱崎一輝君）

今のところでちょっと大きめにしてもいいので、半分ぐらい載せる。

○（平口朋彦君）

鷺坂隆夫議員のときのって、もうちょっと大きくなかった、久保議員よりも。

永年勤続表彰も写真使っているときと使っていないときがある。

○議会広報特別委員長（濱崎一輝君）

多分、スペースの関係であれじゃないかな。

○（平口朋彦君）

東海市議会議長会で表彰されたやつと、もう一つあるよね、永年勤続表彰って。それで記事を分けているのかな。

○議会広報特別委員長（濱崎一輝君）

事務局。

○事務局書記（本杉周平君）

恐らく、東海と全国で載せるのかなとは思いますが、多分、すみません、ちょっと古いやつが手元にないのであれなんです、東海市議会議長会と全国市議会議長会から表彰がありましたという形で、たしか一文でまとめて載せていたと思うので。それで、写真を使っていたかと言われるとちょっと記憶がないんですが、使っていたときもあったかもしれません。

○議会広報特別委員長（濱崎一輝君）

裏面に関しては、今の二つを載せて、そのバランスを見ながら載せていきたいなというふうに思います。

そうしたら、17ページ、18ページ、19ページというところで、このページをどう使っていくかというところですが、ほかにご意見があれば言っていただければ。

原口委員。

○（原口康之君）

特別はないんですけれども、この空白のところ、特にはないです。

○議会広報特別委員長（濱崎一輝君）

吉田委員。

○（吉田富士雄君）

それこそ、今、議会でタブレットを使うようになったもので、自分みたいに苦手な人も、多分、今度が出る候補者もあるかもしれないので、もう資料を使ってやりません。そういう形でタブレット議会やっていますという写真を載せたり、立候補するにはそういうことでありますよというか、知らせてするのもいかがかなと思うんですが。

○議会広報特別委員長（濱崎一輝君）

ありがとうございます。

今、吉田委員から提案がありましたけれども、ここに関しては、今後、議会としてもタブレットでということになりますので、新たになる方にもそういったことを知っておいてもらったほうがいいかなというのがありますし、当然、市民の皆さんにも、今、議会というのはこのようにやっていますよというところを周知するのは必要かなと思いますので、どのページのスペースを取るのかはあれですけども、これに関しては私も載せたほうがいいのかなと思いますけれども、いかがでしょうか。

〔「異議なし」と言う者あり〕

○議会広報特別委員長（濱崎一輝君）

タブレットの関係ですね。

平口委員。

○（平口朋彦君）

先ほど、指折り数えていけばよかったんですけども、本杉さんから、上げてもらったネタの数って幾つでしたか。

○議会広報特別委員長（濱崎一輝君）

事務局。

○事務局書記（本杉周平君）

全部で七つですかね。もう一度、もし言ったほうがよければ。特にいいですか。

○議会広報特別委員長（濱崎一輝君）

平口委員。

○（平口朋彦君）

そして、今の吉田委員からのご提案も含めると八つになるということですね。

○議会広報特別委員長（濱崎一輝君）

いや、入ってます。

○（平口朋彦君）

入ってるの、ごめんなさい。

入って七つになるということは、半分ずつ使ってももう半ページの半分に使っても、もうネタとしては埋まっちゃうということですね、半分ずつ使っても。ざっくりの話ですけども、すご

い。

○議会広報特別委員長（濱崎一輝君）

前はあれでしたっけ。平口委員が作ってくれた選挙公営って、どれぐらい取っていましたっけ。

○（平口朋彦君）

あれは紙の3分の2ぐらい使っちゃっているんだけど、あれは別に薄めることも伸ばすこともできるもので。薄めると伸ばすと一緒だ。濃くすることも薄めることも可能なので、半分にしてと言えば半分にするし、1ページにしてと言えば1ページにするしという感じではありますね。

○議会広報特別委員長（濱崎一輝君）

選挙公営に関しては載せたほうがいいかなと、私、個人的には思っているんですけども、いかがでしょうか。

鈴木長馬委員。

○（鈴木長馬君）

次期のいろいろと立候補する方もあると思うものですから、その辺、載せたほうがいいと思いますね。

○議会広報特別委員長（濱崎一輝君）

では、選挙公営に関しては載せるというところによろしいですかね。

〔「異議なし」と言う者あり〕

○（平口朋彦君）

紙幅はどれぐらいにしますか。

○議会広報特別委員長（濱崎一輝君）

それ、今、ほかに載せたいものが決まったところで決めればと思うので。

ほかに、これ載せたいというものがあれば。

議会報告会のやつもどうかなと思うんですけども、いかがですか。あれ配信はいつでしたっけ。

○（平口朋彦君）

7月1日から始まる。7月1日、午前9時から。8月15日だから1か月半たつ。

○議会広報特別委員長（濱崎一輝君）

そうか、たっちゃってるね。

○（平口朋彦君）

それまでに見てくれていない人が、これを見て初めて見るのか。

でも班回覧、全戸配布じゃなくて班回覧ですよ。これは全戸配布なので載せてもいいかもしれない。

○議会広報特別委員長（濱崎一輝君）

議会報告会もあれば、今、ページは埋まってくる感じかな。

今、出てきているのが、今、出てきた議会報告会、それから、あと選挙公営、タブレット端末、これで三つずつで1ページ数になります。

あとは、裏面に永年勤続と名波議員の件という形で、一通り埋まるんだけど、ただページのどんなものかなというところです。

○（平口朋彦君）

テトリスじゃないけど、これは大きくする、これは小さくするって、テトリスのようにあと2個ぐらい必要だよ。

○議会広報特別委員長（濱崎一輝君）

事務局。

○事務局書記（本杉周平君）

ありがとうございます。

そうですね、平口委員が言われたように、ちょっとタブレット端末の導入で1ページというのは難しいかなとは思ったりもするので、今おっしゃられたとおり、もう少し案件というか、あって、当然、前半部分の定例会のほうの動きによっては、多少、こっちがもっとボリュームになれば、こっちを削るということもあるかと思うんですけども、候補だけでも少し上げておいていただければ、ありがたいかなというところではあるんですが。

○議会広報特別委員長（濱崎一輝君）

ほかは何かありますか。

8月だと竜巻の関係の提言書は、あまり時期的にどうかなというのは。

各委員会からの提言のやつは半ページでいける。総務と文教。

事務局。

○事務局書記（本杉周平君）

今までですと、総務と文教で半ページ半ページで1ページです。それをきゅっと、イラストとかが何もなくてよければ詰められなくもないかなとは思いますが。

○議会広報特別委員長（濱崎一輝君）

あれだよ、聖火リレーの関係とかは市の広報に載せるもんね。

○事務局書記（本杉周平君）

載せるとします。

○議会広報特別委員長（濱崎一輝君）

平口委員。

○（平口朋彦君）

竜巻の要望書の全文と要望書提出の写真で半ページか3分の1ページぐらいは使いそうかな。

もう5月1日の話なので、ちょっとさすがに雁行、そこスペースを取っても鼻白んじやうところがあるというか、大分、対応も進んで終わっている可能性もないことはないし。

○議会広報特別委員長（濱崎一輝君）

事務局。

○事務局書記（本杉周平君）

例えばですが、今、1ページ丸ごと空いているのが3ページ。17ページ、18ページ、19ページであるんですけども、例えばですが、提言書のその後を採用するとして、それで1ページは取れるのかなとは、まず思います。上、下、総務、文教で。今、議会報告会と選挙公営とタブレットは載せましょうというふうになってはいるので、例えば、それを、それぞれ半ページずつということであれば、今は三つあるので、もう1個、何かネタがあれば、半ページ半ページ半ページ半ページで2ページ分にはなるのかなとは思っているので、それで取りあえずは17、18、19のページとしては埋まるかなと。

最終ページは永年勤続表彰と名波議員のご逝去の記事ということで、あと、これも少しページが余る可能性もあるので、多少、何か小さな記事でもあればというところはあるかもしれませんが。そういう考え方もあるのかなとは思いますが。

○議会広報特別委員長（濱崎一輝君）

平口委員。

○（平口朋彦君）

選挙公営のページを公営だけじゃなくて選挙ページにしちゃって、1ページ取って、選挙公営の説明もするし、今期は10月に市長・市議会選挙の改選が予定されていますと。改選しますとは言えないので、改選が予定されていますということを載せて、データの、今までは、例えばですよ、あくまで案ですけどもね。例えば、投票率がこのぐらいだったとかいう過去の何回かのデータを載せるとか、もしくは18歳の投票率はこれぐらいなのに2回目の投票率では、やはり落ちている。もっと選挙に関心を持ちましょうというような感じで、丸々選挙公営とセットで1ページ作っちゃうとかというのも一つ作戦ではある。そうすると、タブレットと要望書で半ページ半ページでスペース的にはちょうどいいのかなと思う。

○議会広報特別委員長（濱崎一輝君）

それいいですね。

今の平口委員の案、いいかなとは思いますが、皆さんいかがでしょうか。よろしいですか。

〔「異議なし」と言う者あり〕

○議会広報特別委員長（濱崎一輝君）

では、今、選挙関係のところ、選挙公営と合わせて1ページというところで、そんな感じでいきたいと思います。

○（平口朋彦君）

衆院の任期っていつまでだっけ。9月、10月。

○議会広報特別委員長（濱崎一輝君）

10月21日。

○（平口朋彦君）

10月21日が任期。

ということは、衆参、市議、市長、トリプルになる可能性はないの。

参院補選って。

○事務局書記（本杉周平君）

参議院は同日です。

○（平口朋彦君）

衆議院の解散せずに完走したのって、現政始まってまだ2回しかないんだってね。なので、恐らく3回目が今回なるということはないので、大体ね。完走して4年やっちゃうかもしれないけれども、今回。でも、そうすると、ちょうどこの号が出るときに解散して選挙が近いというのも、それはちょっといやらしいなとは思うんだよね。

市議選、市長選の記事を書いているのに、そもそも今、衆議院選挙真ただ中だよというの何か嫌だなとは思うんだけど、もうそこは無視してやっちゃう。

もう、しょうがないですね。

○議会広報特別委員長（濱崎一輝君）

一応、ページの的には、今言った配置でいって、定例会のボリュームによっては、いろいろと多分、ページが削減される可能性があるんで、消去法でいくと、総務、文教の提言のところに関しては外してもいいのかなというところですね。旬の話題ということ。

旬の話題を優先させるとそんな形でいきたいと思えますけれどもよろしいですか。

〔「異議なし」と言う者あり〕

○議会広報特別委員長（濱崎一輝君）

では、そのようにお願いします。

○（平口朋彦君）

役割分担も決めておいたほうがいいんじゃないの。

○議会広報特別委員長（濱崎一輝君）

それでは、選挙公営とその選挙をセットというところと、あとタブレット、議会報告会。あと永年勤続と名波議員のやつは、これは事務局でやってもらっているよね。

それでは、ちょっと役割を決めておきたいと思えます。

議会報告会のところで、半ページ載せたいと思えますけれども、どなたか誰かやっていただける方はいますか。

○（平口朋彦君）

それは別に担当しなくても、事務局が作っているチラシの情報をそっくりそのままレイアウトしてURLを貼ってもらって、それで、ちょっと画面の写真を載せたりとかして、あとは配信していますというのでいいのかな。

○議会広報特別委員長（濱崎一輝君）

では、議会報告会は事務局でお願いします。

○（平口朋彦君）

選挙公営とその選挙のやつは、協力してもらって1ページ担当します。

○議会広報特別委員長（濱崎一輝君）

平口委員、では、お願いします。

○（平口朋彦君）

当然、そのデータの的なものとあれば、ちょっと指導してもらいながら幅も見て、そのページレイアウトも見て作ります。

○議会広報特別委員長（濱崎一輝君）

分かりました。

あと、タブレット端末のほうは私のほうで、ICTのやつの関係なので私がやります。

では、永年勤続、名波議員のやつに関しても事務局でというところで。

あと、提言のその後ですね。これに関しては、各委員長でということをお願いしたいので藤野議員と平口議員でお願いします。

そうか、事務局か。では、事務局で。

一応、担当はそんな形でいきたいと思います。

ページ割に関しては以上ですかね。

〔「異議なし」と言う者あり〕

○議会広報特別委員長（濱崎一輝君）

それでは、一応、事件としては以上となります。

補足で、事務局のほうから何かありますか。

事務局。

○事務局書記（本杉周平君）

ありがとうございました。

では、編集スケジュールとページ割については、おおむね、このような形で進めさせていただきたいというふうに思いますので、よろしく願いいたします。

また、ページ割については、当然、今後の審査のボリュームによっては、多少増減することもありますので、また、28日の本会議終了後の第2回の広報特別委員会の中で最終決定のほうをいただければというふうに思いますので、よろしく願いいたします。

これは、今号に関わることではないんですが、ちょうど前回からも少しお話をさせていただいておりますが、今回の63号の発行をもって小・中学校の全部の写真の依頼が終わります。それで、皆さんの任期の中であと1回、9月定例会号がございませけれども、そちらについては前回までのお話ですと、今まで出た写真を少しちりばめて表紙としたらどうかというような案が出ていたかと思います。それでよろしいのか、それとも、もっとほかに、例えばどこかの機関に頼むということであれば、少し早めに動いておかないと間に合わないのかなというところもあるので、今

日ということでもなく次回でも結構ですので、また、もし案等がございましたら少しご教授いただければというふうに思いますので、よろしく願いいたします。

以上です。

○議会広報特別委員長（濱崎一輝君）

では、表紙のページに関しては、そのようにお願いします。

あと、編集後記の関係で今回は私になっているんですけども、最後、私が9月やるようにするので、原口委員お願いします。

3 その他

○議会広報特別委員長（濱崎一輝君）

そのほか、皆さんのほうから。

平口委員。

○（平口朋彦君）

先々のことを言うとちょっと鬼が笑うかもしれないんですけども、64号の話、さっき表紙について話が出ていたのであれなんですけれども、64号の仕立てをどうするかというのも、ちょっと早めに考えておいたほうがいいのかなど。

改選が近くて、前回は、たしか16ページに減じて発行して、なおかつ一般質問の原稿提出依頼はかけずに事務局が一般質問のやつを要約して作っているんですよ、前回の改選前の直近のやつは。

今回もそれでいくのかどうか。それで、これはマイクを通してあまり言いたくはないんですけども、改選があつて、次、選挙に再び立候補しようとしてされている方って、もう9月になると忙しい。9月議会が終わると忙しいということで、原稿依頼をかけるのはどうだということでやっちゃっていたんですけども、そもそもそれが本来的なのかどうかというのもあるんですよ。

議員である以上、任期いっぱい、たとえ選挙を控えていても職責を果たすべきだとは、個人的には思うんですよ。原稿依頼、たかだかというのか、いや、やはり大変だと言うのか分からないんですけども、800字を依頼かけられないほど選挙に没頭するというのは、逆に言うと4年間の任期の内の何か月間は放棄しちゃっているということと、職責放棄と一緒になので、そのところは、まだここで決定する必要はないですけども、ちょっと念頭に入れて64号の仕立てとこののを考えておくべきだし、本来であれば15人、議長、監査委員は抜いたとしても十何人が一般質問を毎回するのが本来だとは個人的には思うんですけども、この議会だよりの原稿を書く、一般質問の準備をするというのが、もう9月は大変だからってやらないというふうに考えるのはおかしいですよ。おかしいけれども、そういうことを考えるとやらないということも、ひょっとしたらあるとすれば、早いうちに第64号に関しては、一般質問された方に対しても、ちゃんと原稿依頼をかけますというふうに先々に言うておく、かけるんだったらね。それで、決してよくないと思うけれども、事務局でやりますと、ここで決定しちゃうんだったらね。駄目だとは思

ますよ。それでも決定しちゃうんだったら、それはそれで事前にほかの議員さんにも言うておいて、という情報提供的なものをしておくべきだと。個人的には従来どおり、たとえ改選前でも原稿依頼をかけて一般質問の原稿を提出してもらうべきだと個人的には思っています。

それは通告質疑とか討論に関しても原稿依頼をかけるというのが筋じゃないかなとは思っていますけれども、この63号に向けての委員会が何回かあるので、5回か、その間には64号に向けて、どういう仕立てにするかという協議するタイミングを作ったほうがいいのかなと思います。

○議会広報特別委員長（濱崎一輝君）

ありがとうございます。

ちなみに4年前の最後の定例会のときの一般質問って何人やっているの。

事務局。

○事務局書記（本杉周平君）

6名です。6名を半ページにしているので、全部で3ページ。

○議会広報特別委員長（濱崎一輝君）

ありがとうございます。

今、平口委員のほうから提案がありましたけれども、この件に関して、どうでしょうか。今、話で決めちゃいますか。それとも今後決めるのか。

前半だったら時間がまた取れますけれども、後半、編集作業に入ってくるとなかなか時間が取りにくいかと思えますけれども、どうですかね。

取りあえず今の意見を聞いた中で、それぞれちょっとご意見をいただければなと思うんですけども。

鈴木長馬委員。

○（鈴木長馬君）

私は、自分の質問したことですから、自分でちゃんと提出したほうが私はいいと思います。

○議会広報特別委員長（濱崎一輝君）

原口委員。

○（原口康之君）

私も、前回のことはちょっとよく分からないですけれども、自分の一般質問で自分が市政を問うという部分を考えて、やはり人任せではなく自分が書いて原稿をきちっと渡すべきではないかなと、私も考えます。

○議会広報特別委員長（濱崎一輝君）

それはあれですかね。一般質問だけという形。

○（原口康之君）

いや、もちろんほかの原稿というか、いつもと同じような感じで議員としてやるべきかなと考えます。

○議会広報特別委員長（濱崎一輝君）

ありがとうございます。

藤野委員、お願いします。

○（藤野 守君）

今までのご意見でいいと思います。

○議会広報特別委員長（濱崎一輝君）

ありがとうございます。

吉田委員。

○（吉田富士雄君）

選挙は選挙、広報は広報、もう一緒ではなくて、それは責任なので、選挙は個人的なことなので、広報はやるべき。

○議会広報特別委員長（濱崎一輝君）

ありがとうございます。

皆さんからご意見をいただいた中で、今までと同じような形で最後まできっちりやったほうがいいだろうということですので、私も同感です。

ということなので、記事に関しては通常どおり依頼するということで、ただ締切りに関しては、ちょっと早めになるので、早めという形で締めてもらうということ。

これに関しては、あれかな、全協のところと言ったほうがいいのかな。

事務局。

○事務局書記（本杉周平君）

ありがとうございます。

今度の発行号64号につきましては、通常でしたら2か月後の発行になるので、11月15日付になるんですが、そうすると皆さんの任期がもう終わってしまっているの、いつも改選の直前については、ひと月早めて、10月15日発行ということで発行しています。なので、少し、今、委員長もおっしゃられましたが、提出期限については前倒しをしてやらせていただかないとどうしても間に合わないかなというところもありますので、何かの折に委員長のほうから、その旨、今月の全協ではなくても、あまり早いとあれだとは思っているので、何かの折に言っていただければ大変ありがたいかなというふうには思います。

○議会広報特別委員長（濱崎一輝君）

9月か10月ぐらいのところ。

○事務局書記（本杉周平君）

8月か9月ぐらいのときにあれですかね。

○議会広報特別委員長（濱崎一輝君）

分かりました。

では、そのようにしたいと思います。

そのほか、皆さんのほうからはいかがでしょうか。何かありますか。特にはないですかね。

〔「なし」と言う者あり〕

○議会広報特別委員長（瀨崎一輝君）

それでは、なければ以上で終わりたいと思います。

それでは、これにて議会広報特別委員会を閉会いたします。どうもお疲れさまでした。

〔午前 10時52分 閉会〕